

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	和賀川の清流を守る会負担金(事務局事務を含む)			
■事業開始年度	昭和47年度			
■評価事業コード	030200 - 044	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	01 豊かな自然環境の保全		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市環境基本計画			
■事業の目的と概要	河川の水質環境の保全及び河川敷等への不法投棄防止活動のため、和賀川流域の北上市及び西和賀町2市町及び2市町内にある事業所等で構成する団体に負担金を交付する。また、当該団体の事務局として事業を実施する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	和賀川の清流を守る会負担金(事務局事務を含む)	市民	負担金70千円・河川/パトロール及び清掃活動2回・自然探索会1回・親水美化活動補助5件・休廃止鉱山水質調査5カ所・会報発行1回	負担金70千円・河川/パトロール及び清掃活動2回・親水美化活動補助3件・休廃止鉱山水質調査6カ所・会報発行1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	75	76	78	76	
人件費	3,052	4,304	3,887	2,757	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,127	4,380	3,965	2,833	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	河川/パトロール及び清掃活動の実施回数	2回	2回	2回	2回	7月と10月に実施。参加者数は7月:43名、10月:56名
02	自然探索会の実施回数		1回	1回	0回	流域の自然との触れ合いや観察をとおして、自然保護の大切さを認識することが目的。広報により一般市民の参加者を募集。H20より本指標を追加。台風接近のため令和2年度中止

03	河川の水質を示す代表的指標のBOD値(日間平均値)		0.5未満~0.8(mg/l)	0.5未満~0.7(mg/l)	0.5未満~0.8(mg/l)	河川の汚染状況を把握するための水質調査。環境基準1mg/l以下
04	和賀川親水美化活動に対する補助金交付団体数	4件	3件	3件	3件	水生生物調査による和賀川流域の河川の水質検査、河川及び河川敷の清掃活動などの実施。

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

達成状況の分析

問題点・課題等

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

河川/パトロール及び清掃活動で、不法投棄等の発見・撤去を行い、河川の清流化に貢献できた。

啓発活動等は行っているものの、不法投棄そのものはなくならない。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

持続的な啓発等の対策を実施していく。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	生活環境部環境政策課		■担当係	環境企画係
■評価事業名称	自然保護・鳥獣保護・外来生物対策等事務			
■事業開始年度	平成17年度			
■評価事業コード	030200 - 048	■会計区分	一般会計	
■総合計画画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり		
	■基本施策	01 地球環境保全の推進		
	■施策	01 豊かな自然環境の保全		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	環境基本法、自然環境保全法、鳥獣保護管理法、生物多様性基本法、外来生物法			
■関連計画の名称	北上市環境基本計画			
■事業の目的と概要	自然保護・鳥獣保護・外来生物対策等を目的とし、市民・関係団体へ情報提供を行い、自然保護団体関係者の連絡会等を開催する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	自然保護・鳥獣保護・外来生物対策等事務	市民・自然保護活動団体等	・自然保護パトロール委員会会議の開催・特定外来生物や生態系被害防止外来種についての周知、駆除依頼	・自然保護パトロール委員会会議未実施・特定外来生物や生態系被害防止外来種についての周知、駆除依頼

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				2	
人件費	229		76	1,043	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	229		76	1,045	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	連絡会開催回数	0回	0回	0回	0回	
03	自然保護団体数	16団体	16団体	16団体	16団体	

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

<p>■目標達成状況</p> <p><input type="radio"/> A. 順調</p> <p><input type="radio"/> B. 概ね順調</p> <p><input checked="" type="radio"/> C. 遅れている</p>	<p>達成状況の分析</p> <p>生物多様性も踏まえ、北上市の自然について現状の把握ができておらず遅れている。</p>	<p>問題点・課題等</p> <p>連絡会等が未開催となっている。自然環境保護・環境保全などに関して情報が不足しているため、情報収集したうえで今後の方向性を検討しなければならない。</p>
<p>1. 直接的な受益者の範囲</p> <p><input type="radio"/> 不特定多数に及ぶ</p> <p><input checked="" type="radio"/> 特定されるが多数に及ぶ</p> <p><input type="radio"/> 特定少数に限定される</p>	<p>2. 国・県・民間との競合関係の有無</p> <p><input checked="" type="radio"/> 類似の事業はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業はあるが競合はない</p> <p><input type="radio"/> 類似の事業があり競合する</p>	
<p>3. 事業廃止の影響・貢献度</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止により重大な問題が発生する</p> <p><input checked="" type="radio"/> 事業の廃止により何らかの問題が発生する</p> <p><input type="radio"/> 事業の廃止による問題は想定されない</p>	<p>4. 市民生活・企業活動への貢献度</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に不可欠</p> <p><input checked="" type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している</p> <p><input type="radio"/> 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い</p>	<p>5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の大多数(70%程度)</p> <p><input checked="" type="radio"/> 1. で選択した人の半分程度(50%程度)</p> <p><input type="radio"/> 1. で選択した人の少数(30%程度)</p>
<p>6. 事業へのニーズの変化</p> <p><input type="radio"/> ニーズが高まっている</p> <p><input checked="" type="radio"/> ニーズは変わらない</p> <p><input type="radio"/> ニーズが低下している又は合致しない</p>	<p>7. 施策の改善需要度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が低い</p>	<p>8. 施策の優先度(市民意識調査)</p> <p><input type="radio"/> 順位が高い</p> <p><input checked="" type="radio"/> 順位が中程度</p> <p><input type="radio"/> 順位が低い</p>
<p>9. 他市町村に比較しての優位性</p> <p><input type="radio"/> 先進的またはユニークな事業である</p> <p><input checked="" type="radio"/> 他と同程度の事業である</p> <p><input type="radio"/> 遅れている事業である</p>	<p>10. 実施主体の代替性</p> <p><input type="radio"/> 民間委託等の拡充は難しい</p> <p><input checked="" type="radio"/> 民間委託等の拡充が十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 全部委託や実施主体の移行が可能</p>	<p>11. 経済性・効率性の向上</p> <p><input type="radio"/> 今以上の効率化や改善は難しい</p> <p><input checked="" type="radio"/> 効率化や改善を図ることは十分に可能</p> <p><input type="radio"/> 効率化や改善の余地が大きい</p>
<p>■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)</p> <p>関係団体と協議のうえ、今後の在り方を検討する。</p>		<p>■今後の方向性</p> <p><input type="radio"/> I. 拡充</p> <p><input checked="" type="radio"/> II. 継続</p> <p><input type="radio"/> III. 縮小</p> <p><input type="radio"/> IV. 廃止・休止</p> <p><input type="radio"/> V. 完了</p>

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課	■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	北上市鳥獣被害対策連絡協議会負担金(事務局事務を含む)		
■事業開始年度	平成9年度		
■評価事業コード	050200 - 106	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	04 美しい環境と心を守り育てるまちづくり	
	■基本施策	01 地球環境保全の推進	
	■施策	01 豊かな自然環境の保全	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	有害鳥獣による被害を最小限にとどめるため、協議会に負担金を支出し、農作物及び市民生活への被害防止を図る。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和2年度事業計画	令和2年度事業量実績
01	有害鳥獣捕獲連絡協議会負担金(事務局事務を含む)	市民	煙火保安講習会受領、鳥獣家畜用煙火配布、クマ出没時の広報活動、カワウ対策事業、クマ対策研修会開催、狩猟免許受験料補助金、電気柵設置事業費補助金	煙火保安講習受講、鳥獣駆逐用煙火配布、クマ出没時の広報活動53回、カワウ対策事業、狩猟免許受験料補助金9件、電気柵設置事業費補助金6件、岩手県鳥獣被害防止総合支援事業

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	111	122	111	350	
人件費	1,908	3,766	2,134	75	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,019	3,888	2,245	425	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	電気柵補助金交付件数	1	4	4件	6件	
02	狩猟免許補助金交付人数	7	5	7件	9件	

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

クマ出没時の広報活動や研修会の開催等により、市民への注意喚起を図り、被害防止に努めた。また、狩猟免許受験料補助金及び電気柵設置事業費補助金の活用により、対象者に補助を行い、鳥獣被害の抑制及び実施隊員となる人材育成を行った。

問題点・課題等

ここ数年、鳥獣による被害が拡大しており捕獲の強化について県へも要望しているが、市としても捕獲を強化していかなければならない。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

事業の廃止により重大な問題が発生する

事業の廃止により何らかの問題が発生する

事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

市民生活・企業活動の維持に不可欠

市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している

市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

1. で選択した人の大多数(70%程度)

1. で選択した人の半分程度(50%程度)

1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

有害鳥獣による被害防止のため、今後は捕獲強化をしていかなければならないので、事業拡充が必要

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了